生活支援体制整備事業だより

第５号　令和3年１月
発行：遠賀町社会福祉協議会

今年度のスローガン！！
お互いさまでつながる遠賀

寒い季節のあったかい話【尾崎区編】

急に寒くなった12月、朝の気温は、5度。 尾崎公民館に10時集合のはずが、9時50分には賑やかな声がしています。 福祉ネットワーク委員の女性の皆さんが友愛訪問の贈り物を仕分けしている声です。 皆さん手慣れた様子で約50世帯分があっという間に準備完了。 訪問の打ち合わせ後、今度は男性の出番です。手際よく、車に載せ、訪問に出発です。

地域の福祉活動は、地味で息の長い活動のため目立ちませんが、尾崎区では委員の皆さんがあったかい心で地域の高齢者の皆さんのお宅を訪問し、贈り物をして、安否確認をされています。

尾崎区は、地域が広く、高齢者世帯も点在しているため、車での訪問が中心となります。 出発する車を見送りながら、本当に頭が下がる思いをしました。

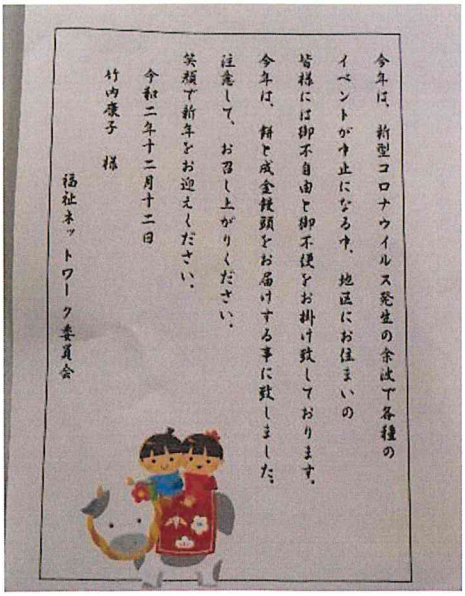
他にも多くの地域で年末の訪問活動をされています。 掲載できなかった地域は、今後、掲載できるよう努めますので、よろしくお願いします。

さあ　出発です！

今回は、地域の方の日ごろの活動を紹介します！

寒い季節のあったかい話【若松区編】

12月12日（土）、若松区福祉ネットワーク推進委員の皆さんがそれぞれの担当に分かれて、声掛け戸別訪問活動が行われました。この取り組みは、同じ地域のご近所さんのふれあい活動として、行われています。推進委員さんが訪問すると、久しぶりに再開できた喜びを実感し、世間話に花を咲かせていました。



今年は、新型コロナウイルス発生の余波で各種の
イベントが中止になる中、地区にお住まいの
皆様には御不自由と御不便をお掛け致しております。
今年は、餅と成金饅頭をお届けする事に致しました。
注意して、お召し上がりください。
笑顔で新年をお迎えください。
令和二年十二月十二日
竹内康子　様
福祉ネットワーク委員会

昨年1月から発生した新型コロナウイルス感染症の影響により、思うような交流活動を行うことが厳しい状況となっておりますが、舛添区長さんから、昨今の社会情勢となり、地域の皆さんの支え合いが必要であることを痛切に実感しています。世の中が平穏無事に収まるには、まだしばらく時間がかかると思いますが、区民ひとりひとりのご協力をお願いします。」と話されました。若松区を訪問させていただいて、顔の見える交流活動の継続がこれからも地区にとってより大きな財産となっていくことと思いました